



お盆です・・・

「盂蘭盆会うらぼんえ」とはインドのサンスクリット語のウラバナ逆さ吊り(を漢字で音写したもので、転じて逆さまに釣り下げられるような苦しみにあっている人を救う)という意味です。



お盆の行事はお釈迦さまの弟子の一人、目連尊者もくれんそんじやが母を救う話に由来しています。

目連尊者はある時神通力によって亡き母が餓鬼道に落ち逆さ吊りにされて苦しんでいると知りました。そこでどうしたら母親を救えるのかお釈迦様に相談したところ、お釈迦様は言われませんでした。

夏の修行が終了した七月十五日に僧侶を招き、多くの供物をささげ供養すれば母を救うことが出来るであろう」と。

来るであろう」と。

目連尊者がお釈迦様の教えのままにしたところ、その功德によって母親は極楽往生がとげられたこのことです。

それ以来 旧暦七月十五日は、父母や先祖に報恩感謝をささげ、供養をつむ重要な日となりました。

今年の法問寺での法要は七月八日・十三日にみたまお迎え法要がありまして、ご家族お揃いでお越し下さい

精霊棚について



盆棚は精霊棚とも言われ、位牌の安置やお供え物・故人の好物を置き、ご先祖様をお迎えします。

真菰(まごも)を敷いた祭壇を設け台の四隅に葉のついた青竹を立て、竹の上部にしめ縄を張ります。ここに位牌、お盆の供物、故人の好物などを供えます。また、供養膳には霊供膳を供えます。盆棚を設けるのが難し

い場合は、仏壇に盆飾りをするか、仏壇の前や横に小さな机を置き、白布を掛けて盆飾りをしてもいいでしょう。最近ではスーパードなどでも供物用品として販売されているようです

♪ 施餓鬼音楽法要の報告

五月二十日に本年の施餓鬼音楽法要が無事に終了しました。施餓鬼法要に参加され、共に一切の無縁精霊の菩提を弔うことは生前に於いてもかならずや多くの功德がいただけます。

今年も法要の前にお檀家の皆様と一緒に歌を歌いました。住職もギターを弾きながら一緒に上を向いて歩(こ)つを合唱しました。今年参加できなかった方も来年はぜひ参加していただき歌を歌いながら仏様との縁を深く結んでください。



◆ 住職の、さんさん活動 ◆

東北震災被災地訪問

七回目になる被災地でのボランティア活動をしてみました。今回は五月三十一日・一日の二日間での強行軍で陸前高田 大船渡 遠野 大槌 釜石と行ってきました。半年ぶりの被災地仮設住宅にお伺いしマジックの公演 皆さんとの合唱など楽しい時間を共有することができました。愛犬一匹と家内を同行しての活動で仮設住宅 居住の被災者の方々と交流することができました。又、秋に訪問する予定になりそうです

